

## 平成28年度 学校評価報告書

分野	重点目標	自己評価			学校関係者評価
		具体的な取組	評価指標	達成状況	
学習指導	より高い目標を目指しながら、生徒の進路実現に向け、個に応じたきめ細かな指導を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シラバスを作成し、的確な指導と評価により、学習意欲の喚起を目指した授業の改善に努める。</li> <li>・生徒自身の学習態度の自己点検・評価とともに、生徒による授業評価を実施し、授業に対する生徒の要望等を把握して指導方法の改善に努める(スキャナーを導入)。</li> <li>・指導力の向上を目指し研修、互見授業を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の内容は理解しやすいと答えた生徒の割合を95%にする。(91%)A</li> <li>・授業に熱意が感じられると答えた生徒の割合を95%にする。(96%)A</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後ともきめ細やかな指導を継続すること。</li> <li>・休日も学校を開放して生徒に学習の場を提供しているのが良い。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎基本事項の定着と、個々の進路指導に即した応用力の伸長を図る。</li> <li>・習熟度に応じた指導方法、学習形態、課題の工夫に努める。</li> <li>・観点別評価を試し、実施に向けた対応を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎力確認調査2年(国語、数学β、英語)の平均正答率を90%にする。(88%)B</li> <li>・課題の量・内容は適切であると答えた生徒の割合を85%にする。(80%)C</li> <li>・板書、授業プリントなどの内容はよくまとまっていると答えた生徒の割合を95%にする。(93%)A</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成績下位者への配慮が行き届いていることを評価する。</li> </ul>
生徒指導	知・徳・体にバランスのとれた人間の育成、責任ある行動で正しい判断力と思いやりの心を持つ生徒の育成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶、交通ルールの遵守等、望ましい生活スタイルを積極的に確立させる。(交通安全指導・登校時生活指導[7回]、整容点検[5回])</li> <li>・主体的な生徒会活動と時間の有効活用とともに活力に満ちた部活動の推進に努める。(運動会、スポーツ祭、白壁祭、予餞会の実施、振り返り等)</li> <li>・諸活動における生徒観察や定期面談、アンケート調査を通して、生徒の心身の状態を的確に把握し、適切な支援に努める。</li> <li>・いじめ防止等の対策、情報モラル教育の取組を推進し、問題行動の未然防止に努める。</li> <li>・生徒指導の取り組みについて、生徒指導通信を発行し保護者へ情報を提供する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分によいところがあると答えた生徒の割合を80%にする。(72%)C</li> <li>・高校生としてふさわしい服装やマナーを身に付けていると答えた生徒の割合を95%にする。(94%)A</li> <li>・交通ルールを守る態度を身につけていると答えた生徒の割合を90%にする。(75%)C</li> <li>・学校は、悩みや困りごとの相談によく対応していると答えた生徒の割合を95%にする。(92%)A</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己肯定感を持つには、学力・スポーツ以外の能力があることに気づかせることが大切である。適切な時期に自分というものを適切に出せるかが大事であり、自信につながる。</li> <li>・社会に出たあとの「自分の身を守る指導」にも留意していただきたい。</li> </ul>
進路指導	より高い目標を目指しながら、生徒の進路実現に向け、個に応じたきめ細かな指導を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SGH推進課等他の分掌と連携しながら実践的、体験的な活動を通して、生徒の進路意識を啓発する。(東北大学訪問[1年生]、高田病院訪問[1年生]、本校OB等による進路講演企画[高田病院元院長 石木幹人氏 全学年講演会])</li> <li>・生徒一人ひとりの第一志望の実現を支えるべく担任面談、教科面談等を実施する。面談旬間を年6回設定する。</li> <li>・学年、部顧問、他の分掌と連携を密にし、指導的立場に立つ生徒を育てる道筋を共有し、家庭との窓口が誰であっても一高の方針が正しく伝わる体制を築く。(学年進路合同会議 3年2回・1年3回・2年2回実施 + 3年進路担任検討会3回実施)</li> <li>・3年生の平常課外・長期休業中の講習において、生徒自らの希望により講座を事前登録することで、主体的な学びの姿勢を意識させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校は、生徒の個性を伸ばし、将来への希望を実現させようと努力していると答えた生徒の割合を95%にする。(89%)B</li> <li>・進路指導を進める際、生徒、保護者と連絡を密にしていると答えた生徒の割合を85%にする。(87%)A</li> <li>・生徒の実情を踏まえ、長期休業中の講習などを適切に実施していると答えた生徒の割合を90%にする。(86%)B</li> <li>・国際化に重点を置く大学(SGU等)へ進学する生徒の数を80名以上にする。(26名 2月23日現在)</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の実態に合わせた進路指導を行っていることを評価する。</li> <li>・過卒生に対する受験指導が行き届いていることを評価する。</li> </ul>
健康安全指導	健康・体力の保持・増進と疾病の予防及び保健・安全指導の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎内外の清掃の徹底を図り、環境美化に努めながら落ち着いた潤いのある学習環境づくりを推進する。(大掃除の実施、年4回)</li> <li>・学校安全体制を確立し、危機管理意識の醸成を図り、事故防止に万全を期する。(避難訓練1回、防災講話1回、救急救命講習1回、非常用装備[飲料水、非常食、毛布]の完備)</li> <li>・保健講話等を通じて情報を提供し、意識の啓発を図る。(年10回)</li> <li>・カウンセラーによるカウンセリングを実施する。(年間38回)</li> <li>・生徒に関する定期的な情報交換会を設定し、職員相互の意思疎通を図る。(年4回)</li> <li>・必要に応じて病院等関係機関との連携を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校は、生徒の健康や安全を守るために積極的に取り組んでいると答えた生徒の割合を97%にする。(95%)A</li> <li>・学校は清掃や美化が行き届いていると答えた生徒の割合を80%にする。(82%)A</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎が清潔である。</li> </ul>